

取扱説明書

モントロウ 水圧テストポンプ 注文コード:40637206

このたびは、水圧テストポンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

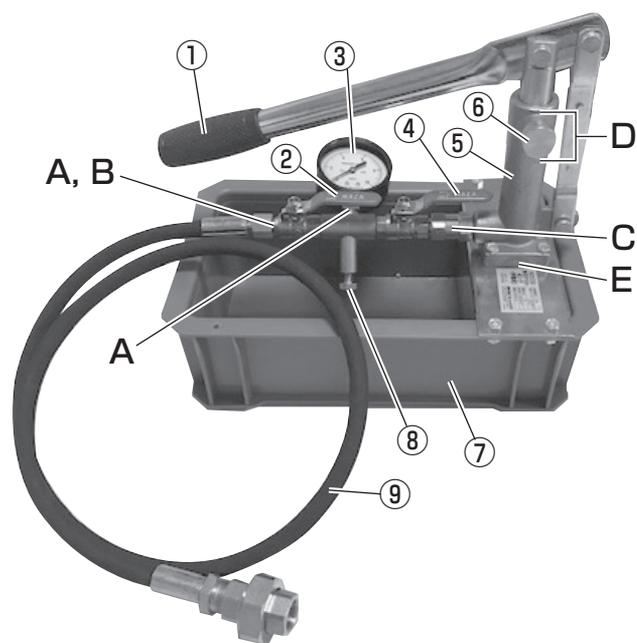
注意 ●この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

■ご使用上の注意

【はじめに】誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の保証、責任を負いません。
また、本製品の分解や改造、修理は、絶対に行わないでください。

- 注意**
- 分解、改造は絶対におこなわないでください。また、過度な衝撃や振動をあたえないでください。故障の原因となります。
 - 作業関係者以外は作業場に近づけないでください。特にお子様にはご注意ください。
 - ご使用後はよく洗浄し、しっかり乾燥させてください。保管するときは直射日光が当たらず、お子様の手が届かない場所に保管してください。
 - 運搬する時は両手で持ち、どのようなときも濡れた手で扱わないでください。滑るなどして落下による破損の原因となります。
 - 作業時は水槽（タンク）を綺麗に洗浄してから、必ずきれいな水を使用してください。汚れや汚水による故障や破損の原因となります。
 - 圧力計最大範囲外での使用は絶対にしないでください。故障の原因となります。
 - 冬季は凍らない場所に保管してください。ポンプが凍結してパッキンなどが損傷、または破損するおそれがあります。

2 各部の名称



■名称一覧

- ①ハンドル
- ②ボールバルブ A
- ③圧力計
- ④ボールバルブ B
- ⑤シリンダー
- ⑥グリスカップ
- ⑦水槽（タンク）
- ⑧エア抜きバルブ
- ⑨耐圧ホース

■パッキン類

- A パイプジョイント用
- B 耐圧ホース用
- C バルブジョイント用（予備）
- D シリンダー用（予備）
- E 給水バルブ用（予備）

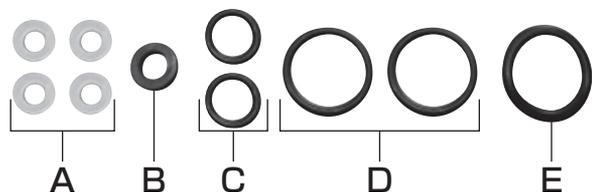
※C～Eは交換用の予備パッキンです。

※耐圧ホース（⑨）接続時にAを1個（残り予備）とBのパッキンを使用します。

■仕様

水槽容量 (L)	4.5
材質 (水槽 (タンク))	ポリプロピレン (P.P.)
寸法 (全長×全高×全幅 W)(mm)	320×300×200
質量 (kg)	3
付属品	5.0MPa 圧力計 1/4PT×1 個、耐圧ホース×1 個、ユニオン継手 1/2×1 個、プッシング 1/2×1/4×1 個、パッキン類×10 個
吸水量 (cc/1 回)	約 13

※ 上記の仕様は予告なしに変更することがあります。

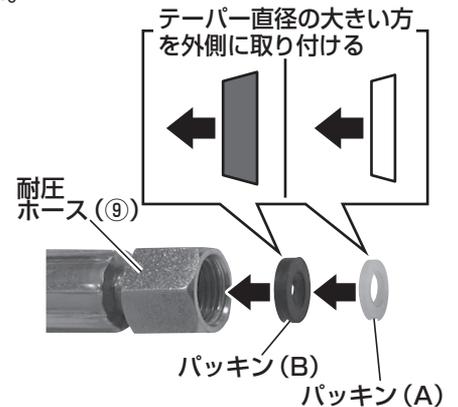


3 使いかた

※テストを行うときは、必ず洗浄された状態の水槽（タンク）で、きれいな水を使用してください。

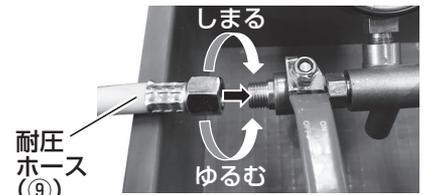
1. 耐圧ホース（⑨）の接続部にパッキン（B、A）を取り付ける

- パッキンは（B）、（A）の順で耐圧ホース（⑨）側へ取り付けます。
- パッキンはテーパ直径の大きい方をホース外側に向けて図のように取り付けてください。



2. ポンプ本体に耐圧ホース（⑨）を取り付ける

- 耐圧ホース（⑨）の接続部をしめる方向に回して取り付けます。
- 圧力低下の原因になりますので確実にしめつけてください。

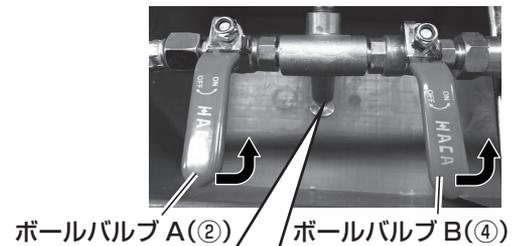


3. テスト対象の配管に耐圧ホース（⑨）を接続する

4. 水槽（タンク）（⑦）にきれいな水を入れる

5. ボールバルブ A、B（②、④）を開く

- ボールバルブ A、B（②、④）を「ON」の方向に開いて、エア抜きバルブ（⑧）をしめる方向に固くなるまで回します。

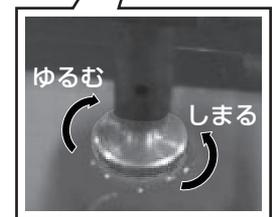


6. ハンドル（①）を上下して加圧する

- ポンプが作動して水が送られます。

7. 圧力計が動き始めたら配管内のエアを抜く

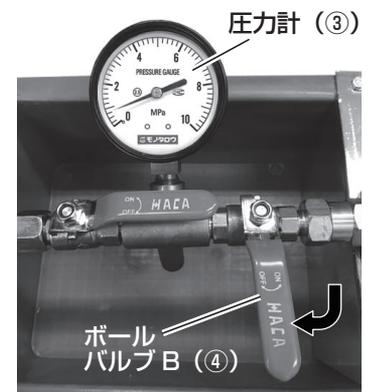
- 圧力計の針が上がりはじめたら、ハンドルを上止めに止め、エア抜きバルブ（⑧）をゆるむ方向に回してエアを抜きます。
- 水とエアが吹き出します。水とエアが止まったら、エア抜きバルブ（⑧）をしめる方向に固くなるまで回します。
- エアが完全に抜けない場合は手順 4. ～ 6. を繰り返してください。



<エア抜きバルブ（⑧）>

8. 圧力をかけて対象のテストを行う

- ハンドル（①）を上下して、圧力計（③）がテストしたい圧力になるまで加圧します。
- 圧力計（③）がテストしたい圧力に達したら、ボールバルブ B（④）を「OFF」の方向に閉じて圧力を保持します。圧力が低下しないか確認してください。
- しばらく観察し、接続ホースの膨張、各部の水漏れ、圧力低下が無いかを確認して異常がなければテスト完了です。



9. テスト完了後、配管内の圧力を抜く

- エア抜きバルブ（⑧）をゆるむ方向に回して配管内の圧力を抜き、ボールバルブ B（④）を「ON」の方向に開いてください。

■ お手入れについて

ハンドル（①）を操作したときに動きが重くなったときなど、シリンダー（⑤）のグリスが切れているおそれがあります。グリスカップ（⑥）のカバーをゆるむ方向に回して取り外し、グリスが少なくなっていたら市販のグリスを補充してください。

